

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	全米・カナダ邦人安否確認システム経費	担当部局庁	領事局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始	担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	北米地域(全米・カナダ)において、わが国国内で利用されている災害伝言ダイヤルと同様のシステムを構築し、大規模緊急事態が発生した際に、被災地域にいる邦人が専用の電話回線を通じてメッセージを録音し、その家族等がこのシステムにアクセスしてメッセージを聞くことにより無事を確認できるようにするもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外で発生する大規模災害時において、現地現場がいかなる状況であっても、被災地付近にいる邦人が家族等に口頭メッセージを残すことができ、且つ本邦家族等が装置に録音された同邦人の肉声を聞くことで安全を確認できるようにすることを目的として、平成18年度に、全米及びカナダを対象とした安否照会システム(「全米・カナダ邦人安否確認システム」)を導入し、これまで同システムの運用・維持及び環境の整備・機能の補充等を実施してきている。なお、このシステムは、専用の電話回線を常時確保しておく必要があり、その運営・維持費及び更なるシステムの機能補充に係る経費を予算要求している。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	27	24	20	20	皆減
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	27	24	20	20	皆減
		執行額	20	18	17		
	執行率(%)	74	75	83			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	大規模緊急事態の際に本システムを稼働させ、伝言ダイヤルにより日本にいる家族等が直接被災地にいる本人と安否の確認ができることを目標としている。	成果実績	回	0	0	0	0
		達成度	%	0	0	0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本件は緊急事態に稼働させるシステムを運用する。	活動実績 (当初見込み)	システム数	1	1	1 ()	1 ()
単位当たりコスト	16,930,000(円/件)	算出根拠	16,930,000円 / 1件				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	システム運用保守経費	16,414	皆減				
	通信費	3,540					
	計	19,954					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	大規模緊急事態の際に安否確認が最も重要な課題の一つであるが、オンライン安否照会システムの開設を踏まえ、平成24年度は本件の予算要求を行わないこととした。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		事業見直しによる廃止	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止(事業見直しによる廃止)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
17百万円



【競争性のない随意契約】

A. KDDI America, Inc.
17百万円

北米地域(全米・カナダ)で発生する大規模災害時において、現地現場がいかなる状況であっても、被災地付近にいる邦人が家族等に口頭メッセージを残すことができ、且つ本邦家族等が装置に録音された同邦人の肉声を聞くことで安全を確認できるシステムの運用・維持及び環境の整備・機能の補充等を実施する。同システム開発者。多くの専用電話回線を確保しており、またニューヨークにある自社データセンターに当該システム機器を設置している。

(同社保有のデータセンターは、独自の電力供給システムや無停電装置、発電設備等を完備して地震等の大規模災害にも機能を維持できる構造になっている。)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A. KDDI America, Inc.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	通信運搬費	電話回線利用料	17			
	雑役務費	システム運用保守	0			
	通信運搬費	平時、有事、定期訓練利用通話料	0			
	計		17	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					